

独立行政法人農業環境技術研究所の平成23事業年度評価結果の主要な反映状況

1. 役員人事への反映について

役員人事への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画が順調に達成され、独立行政法人評価委員会による平成23年度の総合評価が「A」評価であったこと等を踏まえ、役員解任等は行わなかった。
----------	--

2. 役員報酬への反映について

役員報酬への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画が順調に達成され、独立行政法人評価委員会による平成23年度の総合評価が「A」評価であったこと等を踏まえ、役員報酬の増減は行わなかった。
----------	--

3. 法人の運営、予算への反映について

評価項目	23事業年度評価における主な指摘事項	平成24及び25年度の運営、予算への反映状況
その他農林水産省令で定めた業務運営に関する事項等	(人事に関する計画) 女性研究者の採用と活用に向けた取組については、研究所の Web サイトに引き続き女性応募者向けのページ「研究者を志望する女性の方へ」を開設し女性研究者の採用に取り組んでいるが、23年度は応募があったものの女性研究者の採用には至っていない。今後も優秀な女性研究者の応募・採用に繋がるよう継続的な取組が期待される。	JST 女性研究者支援モデル育成事業「双方向キャリア形成プログラム農環研モデル(平成21～23年度)」終了後も、自己資金を活用して、一般向けのアウトリーチ活動、インターンシップ受け入れなどにより、次世代女性研究者を増やすための啓発活動を継続している。また、平成22年4月に農業環境技術研究所次世代育成支援行動計画を策定し、仕事と子育てを両立しやすい雇用環境の整備にも努めている。今後とも、以上のような取組を通じて、優秀な女性研究者の積極的な確保に努めたい。
	(法令遵守など内部統制の充実・強化) 職員に対しても毒劇物や高圧ガス、遺伝子組換え生物の取扱いに関する講習等を実施するなど、安全管理の強化が図られている。規制物質等の適切な管理について引き続き徹底した点検の実施が期待される。	引き続き、薬品、高圧ガス、遺伝子組換え生物等の取扱いに関する講習会の開催により、職員の安全管理に対する意識の向上、法令遵守の徹底に努めている。また、高圧ガスボンベの管理状況等の巡視、薬品管理システムによる規制物質の管理を行うとともに、毎年度末には全ての毒劇物の点検を行い、その結果を化学薬品等安全管理委員会に報告するなど、引き続き徹底した点検の実施に努めている。